

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

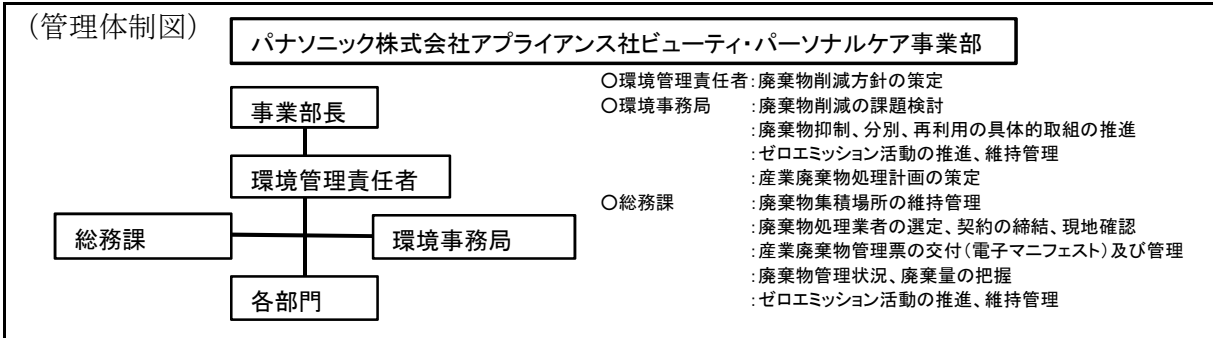
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書		令和3年6月1日
滋賀県知事 三日月 大造 殿		
提出者 住 所 〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地 氏 名 パナソニック株式会社 アプライアンス社 ビューティ・パーソナルケア事業部 事業部長 林 眞一 電話番号 0749-27-0424		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	パナソニック株式会社 アプライアンス社 ビューティ・パーソナルケア事業部	
事業場の所在地	〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地	
計画期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	2939 その他の民生用電気機械器具製造業	
②事業の規模	生産高：474億円	
③従業員数	592名（社員のみ）	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	強酸 pH $\leq$ 2.0 ⇒ 処分業者に委託し、中和後残渣はセメント材として再資源化、又は管理型埋め立て処分 引火性廃油 ⇒ 処分業者に委託し、焼却又は油水分離後残渣はセメント材として再資源化、又は管理型埋め立て処分	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面-1)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和2年度)実績】 111.585t				
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸 pH ≤ 2.0	引火性廃油	強アルカリ(有害) ≥ 12.5	強酸(有害) pH < 2.0
	排出量(t)	110.764	0.589	0.207	0.025
	(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>強酸 pH ≤ 2.0 : 工程不良削減による廃酸排出抑制</li> <li>引火性廃油 : 適正数購入推進(設備保全油の在庫処分)</li> <li>強アルカリ ≥ 12.5 : 設備保全用廃液使用延命化</li> <li>強酸(有害) pH &lt; 2.0 : 製品研究開発等に伴う試薬類の過剰購入抑制</li> </ul>					
②計画	【目標】 100.120 t				
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸 pH ≤ 2.0	引火性廃油	強アルカリ(有害) ≥ 12.5	強酸(有害) pH < 2.0
	排出量(t)	100.000	0.100	0.000	0.020
	(今後実施する予定の取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>強酸 pH ≤ 2.0 : 酸の寿命延命化による強酸排出抑制</li> <li>引火性廃油 : 適正数購入推進</li> <li>強アルカリ ≥ 12.5 : 設備保全用廃液使用延命化</li> <li>強酸(有害) pH &lt; 2.0 : 製品研究開発等に伴う試薬類の過剰購入抑制</li> </ul>					

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>強酸 pH ≤ 2.0 : 他の工程と分離していて、他の廃棄物との混入のおそれなし。</li> <li>引火性廃油 : 特管廃油置き場へ集めた後、現物への表示物貼付による見える化。</li> <li>強酸(有害) pH &lt; 2.0 : 廃試薬は業者指定の容器に入れ、保管する</li> <li>強アルカリ ≥ 12.5 : 空調機用試薬。試薬保管庫で他物質の混入無し</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>強酸 pH ≤ 2.0 : 工程分離を維持管理する。特管廃酸置き場の整備。</li> <li>引火性廃油 : 現状通りの維持管理及び更なる特管廃油置き場の整備。</li> <li>強酸(有害) pH &lt; 2.0 : 工程分離を維持管理する。特管廃酸置き場の整備。</li> <li>強アルカリ ≥ 12.5 : 突発廃棄のため、今後廃棄無し。</li> </ul>

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項					
①現状	【前年度（平成 年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t		t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t		t	
	(今後実施する予定の取組)				
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（令和2年度）実績】 111.585 t				
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸 pH ≤ 2.0	引火性廃油	強アルカリ ≥ 12.5	強酸（有害）pH < 2.0
	全処理委託量（t）	110.764	0.589	0.207	0.025
	優良認定処理業者への処理委託量（t）	110.764	0.589	0.207	0.025
	再生利用業者への処理委託量	t			t
	認定熱回収業者への処理委託量	t			t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t			t
(これまでに実施した取組)					
①産業廃棄物の適正処理を行うため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。 ②産業廃棄物が適正に処理されているかを確認するため、現地確認を定期的実施する。					

②計画	【目標】（令和3年度）：100.120 t				
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸 pH ≤ 2.0	引火性廃油	強アルカリ（有害） ≥ 12.5	強酸（有害） pH < 2.0
	全処理委託量	100	0.1	0	0.02
	優良認定処理業者への処理委託量	100	0.1	0	0.02
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>①産業廃棄物の適正処理を行うため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。</p> <p>②産業廃棄物が適正に処理されているかを確認するため、現地確認を定期的を実施する。</p>					
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度】（令和2年度）：111.585 t				
	特別管理産業廃棄物排出量 <small>（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</small>			111.585	t
	（今後実施する予定の取組等） 導入済み				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。